

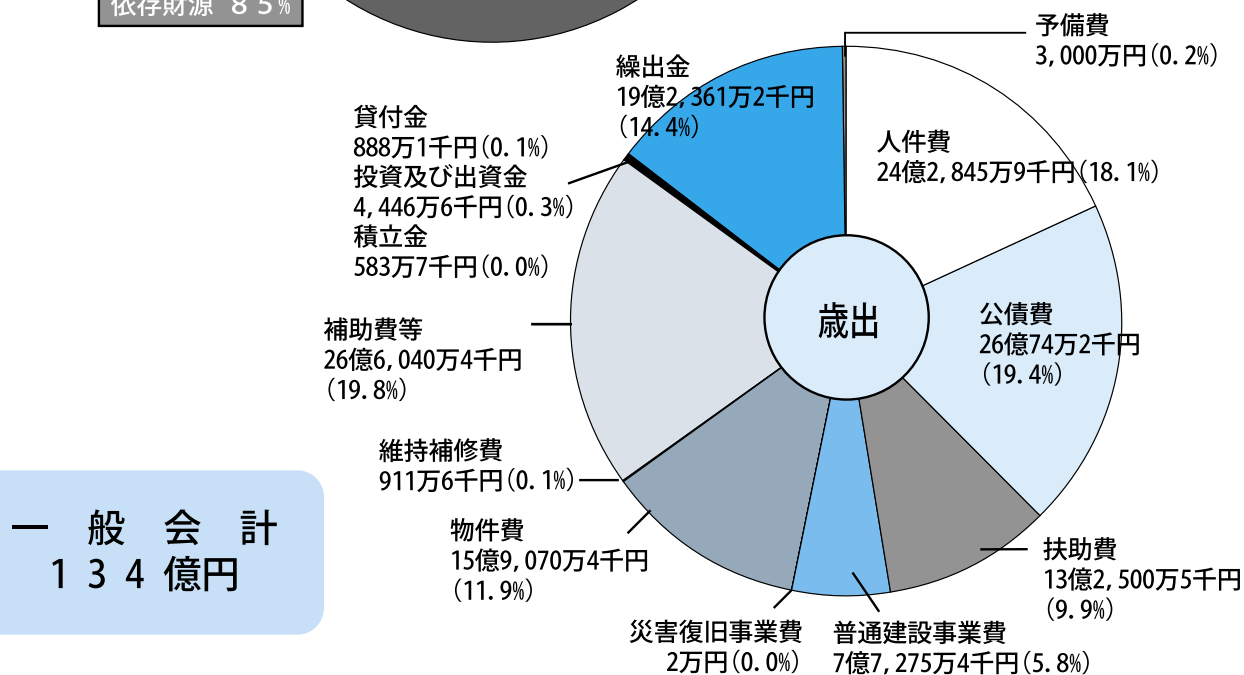
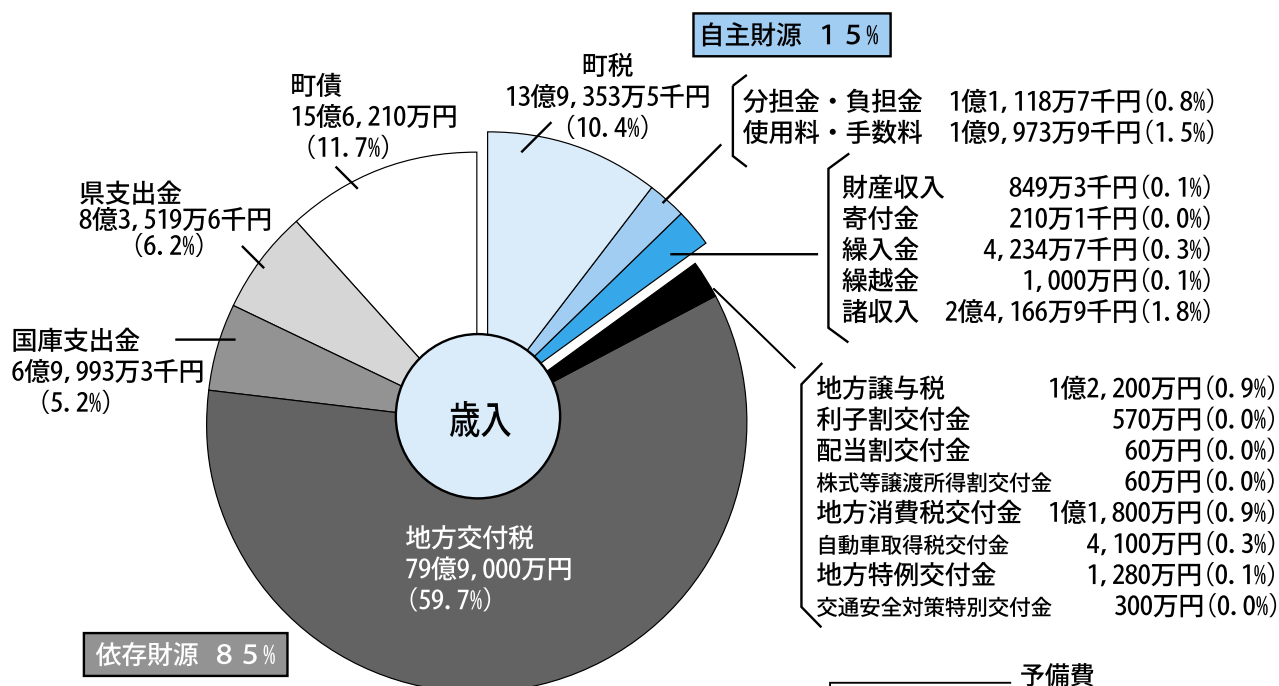
平成 22 年度当初予算

平成 22 年度は、景気は持ち直すものの自律性に乏しく、デフレの影響など、依然として厳しい状況が続くものとされています。

このような経済情勢のもと、地方税収や地方交付税の原資となる国税収入が引き続き落ち込む一方、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準で推移することなどにより、地方財政の財源不足は過去最大の規模に拡大すると見込まれました。

一方、国においては新しい政権のもと、「コンクリートから人へ」を基本理念に、「いのちを守る予算」が編成され、地方交付税については増額確保されたところです。

こうした状況を踏まえ、平成 22 年度当初予算の編成に当たっては、政権交代に伴う制度改正や事業仕分け、地域主権の確立へ向けた取り組み等の状況を的確に把握しつつ、「賑わいの創出」「安全安心の一層の強化、取り組み」「行財政改革の積極的な推進」を目標に掲げ、かつ、平成 21 年度国の補正予算に対応し有効な財源確保に意を尽くし、平成 21 年度補正予算と一体となった予算編成を行うことにより、「幸せに暮らせる町づくり」の実現に向け、着実な予算を編成しました。



一般会計
134億円